



医療経営士ニュース | これからの医療現場を担う経営人材のための機関紙

MMS NEWS

2017 11 月号
Vol.81
毎月1回発行(通巻81号)
編集:日本医療企画

一般社団法人日本医療経営実践協会 〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町4-14 神田平成ビル7F TEL.03-5296-1933 <http://www.JMMPA.jp/>

第6回「全国医療経営士実践研究大会」広島大会開催直前

いざ広島へ！大会登壇者から 医療経営士に向けたメッセージ

第6回「全国医療経営士実践研究大会」広島大会(11月18日、19日)の開催がいよいよ目前に迫ってきた。全国から医療経営士が参集する年に1度の一大イベントに、今から期待が膨らむばかり。今号では大会直前企画として、広島大会でご登壇される先生方から届いた医療経営士に向けたメッセージを紹介する。



浅原利正氏
広島県病院事業管理者・広島県参与、前広島大学長

登録プログラム
基調講演「病院経営改革とグローバルリーダー」

医療経営士3級の合格者が1万人を超えたと聞き、関心の高さに驚きました。各医療機関に経営企画室が立ち上がり、多職種で経営改善に取り組んでいる現状を鑑みれば、必然の流れなのかもしれません。社会の重要な基盤としての医療を護るためには健全経営が不可欠で、病院トップの意思決定をサポートできる経営専門職は貴重な存在です。私も広島大学病院の病院長時代は経営感覚に優れた事務長に助けられました。

医療を護ることに気概と誇りを持って
経営改善に取り組んでほしい

高齢社会の進展や医学の進歩など医療を取り巻く環境は急速に変化しています。そうしたなか、経営人材には、変化に対応できる柔軟性や社会全体を俯瞰できる広い視野が求められます。加えて、経営だけでなく医療の質や患者満足度の向上に貢献できる優れたパフォーマンス感覚も必要です。院内の課題がどこにあるのかを自ら考え、経営トップの判断材料となるようなデータに基づいた提案ができるようにしてほしい。

医療経営士という新しい資格が社会から評価されるためには、医療経営士の実力を周囲に認めさせなければいけません。医療を護ることに気概と誇りを持って自身の役割を果たしてほしいと期待しています。



木矢克造氏
県立広島病院第22代院長

登録プログラム
特別対談「新しい地域づくりとこれからの医療機関経営—求められる人材とその使命—」

経営だけでなく医療の質も考慮した活躍に期待！

2007年に策定された公立病院改革ガイドラインでは、経営の効率化が視点の1つとなりました。自治体病院でも医療経営の重要性は高まっており、医療と経営の質のバランスが求められています。このような時代に医療経営士の活躍の場は広がっていくでしょう。少子高齢化と経済の低成長で社会保障費が抑制傾向のなか、経営人材には社会の変化に順応できる資質が必要です。同時に、医療経

営士の皆さんには医療の現場に足を運び、「怒」を理解してほしいと思います。「怒」とは、医療従事者に不可欠な相手の立場や心情を察する思いやりの心のことで、医師や看護師が患者さんに接する際の原動力となるものです。医療では患者さんを元気づけたり、前向きに考えられるような働きかけが大切ですが、その結果、患者さんに感謝されれば医療従事者のモチベーションも上がります。経営スタッフがこうした気持ちで共有することができれば、組織に一体感が生まれていくはずです。医療経営士には、医療マネジメントの一翼を担う人材として、医療と経営の質のバランスを考慮した活躍を期待しています。

第6回 全国医療経営士実践研究大会 広島大会

2017年
11月18日 土
11月19日 日
まもなく開催!!

変革期に求められる 医療経営士の使命と課題

—現場主導による経営改革と新しい地域づくり

当日参加も
大歓迎!

●当日参加料金(税込)
会員及び
会員申請中の方
【両日参加】20,000円
【1日参加】12,000円
【懇親会】8,000円

会場
広島YMCA国際文化センター
本館地下1階・国際文化ホール(広島県広島市中区八丁堀7-11)

大会
運営
委員長
梶原四郎
日本医療経営実践協会中国支部支部長/社会医療法人清風会理事長

変革型リーダーシップを発揮し、医療界の戦略家に！



妻 英洙氏
ハイズ株式会社
代表取締役社長、
医師、医学博士

登壇プログラム
特別対談「新しい地域づくりとこれからの医療機関経営—求められる人材とその使命—」

経営人材には、管理型と変革型があると思います。管理型は、やるべきことがしっかり見えている安定期に、着実に前に進んで行けるタイプ。変革型は、先行きが不透明ななかで、複雑な問題を構造化していくことに力を発揮します。時代はまさに変革期を迎えています。時代の流れに応じて、自分自身も変わっていくことが必要でしょう。医療界ではこれまで、戦術家（スペシャリスト）の

育成に注力し、戦略家を育ててきませんでした。「限られた医療資源を最大限に活用するためには、いかに配分すればよいか」「自院に新たな価値を生み出すためには何が必要か」—このような視点で考えるのが戦略家の発想であり、医療経営士は、それにふさわしい見識を持った人材であると思います。医療経営士の皆さまは、資格取得の過程で、知識というたくさん武器を得たはずですが、武器は使わないと錆びてしまいますが、磨けば磨くほど身に馴染んでいくものです。ぜひ、積極的に経営現場に飛び込み、現場ニーズを汲み取る努力をしてください。そして、その具現化に力を注いでいただきたいと思います。

広島大会講演スケジュール

1日目(11月18日)

●13:20~14:00

【基調講演】
「病院経営改革とグローバルリーダー」
浅原正氏
(広島県病院事業管理者・広島県参事、前広島大学長)

●14:00~14:40

【医療経営士 特別講演1】
「自院から地域、そして日本の医療の変革へ」
園田幸生氏
(社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院包括診療部)

●14:40~15:20

【医療経営士 特別講演2】
「30年後の未来に向けた健“幸”なまちづくりをめざして」
中村真之氏
(医療法人玉昌会法人事務局チーム医療推進部次長兼
加治木温泉病院薬局長)

2日目(11月19日)

●16:15~17:00

【特別対談】
「新しい地域づくりとこれからの医療機関経営」
木矢克造氏(県立広島病院第22代院長)
妻 英洙氏(ハイズ株式会社代表取締役社長、
医師、医学博士)※兼モデレーター

【医療経営士 特別講演】登壇者からのメッセージ

今後の日本の医療に必要な医師像とは？



園田幸生氏
社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院包括診療部
医療経営士1級

2012年に医療経営士3級を取得し、2013年に2級、2015年に1級を取得しました。また、2015年から2年間、九州大学大学院医療経営管理専攻で医療経営管理における専門知識を学びました。このように医療経営を学んだ医師が医療現場を目線にして今後の医療を考えますと、そこには病院の問題だけではなく、地域や日本の医療におけるさまざまな課題が見えてきます。例えば、医師は医療経営においてまだまだ大きな影響力

を持つ存在でありながらも、医療経営に関する知識不足が否めず、安定した病院経営の方策を打ち出せない現状があり、政府が推進する地域包括ケアシステムの発展の妨げになっているとも考えられます。

私の想いは、医療経営士3級取得の際は自院のため、2級取得後は地域医療への貢献のため、1級取得後は日本の医療改革を目指すため、と段階を上るごとに明確なものとなり、その目標を叶えるためにさまざまな活動や勤務先の変更まで行ってきました。

今回の講演では、3級取得から現在までの私の活動をご紹介しますとともに、今後の日本の医療に必要な医師像について発表いたします。

医療・介護・福祉サービスを越えた「生活支援サービス」を目指して



中村真之氏
医療法人玉昌会法人事務局チーム医療推進部次長
兼加治木温泉病院薬局長
医療経営士1級

現在、私が在職している医療法人玉昌会では、「いつまでも健やかに…私たちの願いです」の基本理念のもと、高田病院(179床、鹿児島市)と加治木温泉病院(350床、始良市)の2つの病院で、医療・介護・福祉サービスを提供しています。この2病院の新築移転を進めていくなかで、病院を中心とした地方創生に協力する地域包括ケアシステムをベースとした街づくりに取り組んできました。そして、地域の「治し支える医療」

の中心的役割を担い、生活に必要なヒューマンライフラインを構築し、全世代に対応した、医療・介護・福祉サービスを越えた「生活支援サービス」を提供していくことを目指しています。

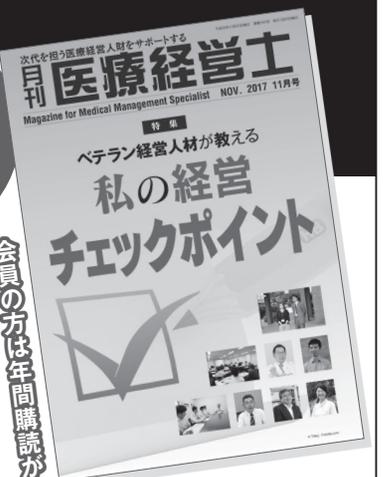
講演では、「30年後の未来に向けた健“幸”なまちづくりをめざして」というテーマで、現在取り組んでいる街づくりプロジェクトである「キ・ラ・メ・キ テラス」「JOYタウン構想」についてお話しさせていただきます。

当法人の2つの病院の強みは、リハビリテーションと透析です。2018年のトリプル改定、さらにその先を見据えて、現在の取り組みなどについてもお話しさせていただきます予定です。

次代を担う医療経営人材をサポートする
“医療経営士応援マガジン”

月刊医療経営士

11月号
好評発売中!!



会員の方は年間購読が
お得です!

特集 ベテラン経営人材が教える
私の経営チェックポイント

医療機関には多くのデータが蓄積しています。それらを集集・分析して医療と経営の質向上に活かすことが不可欠ですが、「どの指標をチェックしたらいいかわからない」「数字を追うだけにとどまってしまう」と悩んでいる医療経営士は少なくありません。特集では、ベテラン経営人材が必ず確認している「経営チェックポイント」を一挙公開。これらを参考に、自身のチェックポイント確立に役立てていただきたい。

今月の見どころ

[リーダーの肖像]
梶原四郎 (社会医療法人清風会理事長/
日本医療経営実践協会中国支部支部長)

[チーム医療経営士]
地方独立行政法人筑後市立病院

年間購読[最新号~1年(12回)] 会員価格: 9,000円(税込)

『医療経営士サブテキスト 医療経営データ集2017』発刊!

日本政策投資銀行・青山竜文氏に聞く!

データをもとに読み解く 医療機関の最新経営動向

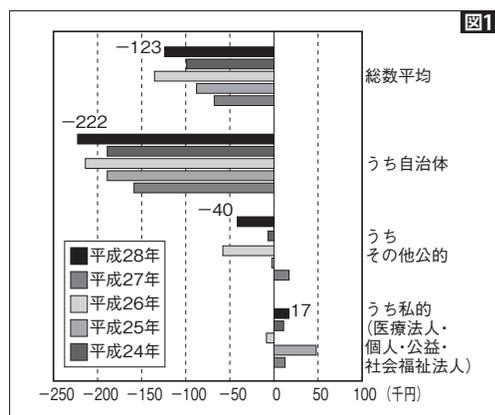


日本政策投資銀行ヘルスケア室長の
青山竜文氏

毎年、好評を博している『医療経営データ集』（日本医療企画）の最新2017年版が好評発売中だ。同書は厚生労働省や病院団体等が公表している各種統計データをテーマごとにまとめており、医療・介護業界の経営動向を俯瞰できる内容になっている。監修・編集は例年通り日本政策投資銀行が行った。同行ヘルスケア室長の青山竜文氏に、医療機関の経営動向と2017年版の特徴についてうかがった。

材料費の高騰などを受け 厳しい経営環境が続く

医療機関の経営動向について、「1床1か月当たり医療収支差額（開設者別・年次別）（図1）を見ると、総数平均は前年より若干悪化した状況になっています。これは「自治体」「その他公的」のマイナスが拡大したことが要因で、「私的（医療法人・個人・公益・社会福祉法人）」については改善傾向にあります。2016（平成28）年度は診療報酬改定があったため、その影響を懸念していましたが、予想よりは大きな変化が見られませんでした。ここ数年、材料費比率が高止まりを続け、全体的に収益性が厳しくなるなか、各医療機関の経営努力がうかがえます。



出典：(一社)全国公私病院連盟・(一社)日本病院会「平成28年病院経営実態調査報告」(平成28年6月)をもとに作成

ト負担が膨らんでおり、負担した分を診療報酬や病床稼働にきちんと転嫁できていないところも多く、引き続き同様の傾向が続くと予想されます。こうした経営動向のトピックスやデータ分析のポイントについては、『医療経営データ集2017』の巻頭特集1「2017年版医療経営データの全体像」でまとめています。

同じ巻頭特集1では、医療法人新成会みどり病院グループ理事長の渡邊毅氏と社会福祉法人恩賜財団済

生会支部新潟県済生会支部事務局長の伊藤孝憲氏による特別対談を掲載しています。お二人には急性期から回復期への転換、リハビリ・認知症対応、地域包括ケアや在宅医療の整備などについてお話をいただいています。

ですが、急性期後の領域をいかに充実させていくかは医療政策上の重要課題です。データからだけでは読み取れない現場の視点を把握するためにも、ぜひ参考にしてください。

業界全体の動向をマクロな視点で把握

巻頭特集2「地域医療連携と介護人材の不足」では、都道府県別の病床機能報告の結果や地域医療連携推進法人制度の最新動向に加え、介護人材の不足に関するさまざまなデータをクローズアップしました。介護人材の不足については、都道府県別の有効求人倍率や離職率・採用率の産業計との比較などから現状を整理するとともに、人材不足解消に向けた取り組みとして介護ロボットの活用事例なども掲載しています。

そのほか、17年版の特徴としては、巻頭特集以外の章立てを「医療」「介護」「周辺産業（医療機器、医薬品）」の全3章構成に見直し、調べやすくなっています。これに伴い、介護関連企業（上場）の売上順位や売上高シェア、医薬品の薬効分類別市場規模と推計適用患者数、医療法人・介護事業者のM&Aといった新規データを加えました。

医療機関において経営の方向性を検討する際、データや数字をもとに議論することは多いと思います。『医療経営データ集』の掲載データは調査結果から抽出された全体の平均値ではありませんが、業界全体の動向をマクロな視点で把握することができます。

医療機関や医療関連企業で活躍する医療経営士の皆さんが医療機関の経営層に何か提案する際もこうした客観的なデータがあったほうが説得力が上がるはずです。

ぜひ、本書を手元におき、パラパラめくりながら、必要に応じて深掘りし、専門知識を高めていくような使い方をいただければと、大変うれしく思います。

日本医療経営実践協会正会員の皆様には、11月頃を予定しています。どうぞお楽しみに!

『医療経営データ集2017』発刊記念セミナー開催決定!
2018年2月3日(土)、日本政策投資銀行の青山竜文氏を講師に迎え、『医療経営データ集2017』発刊記念セミナーを東京で開催します。詳細は決定次第、協会ホームページでお知らせします。

医療経営士必携! 日本医療経営実践協会推薦図書

医療経営士サブテキストシリーズ 医療経営データ集2017

数値で理解する 医療・介護業界の最新動向

主な内容

- 【第1章 医療】施設動向/経営動向/運営費動向/建設投資動向及び資金調達動向/医師・看護師の確保/診療報酬及び薬価基準改定率の推移/医療高度化の分析:単価増/DPC制度/今後の患者数推移/地域包括ケア病棟/自治体立病院の経営状況/在宅医療の充実/救急医療の状況 ほか
- 【第2章 介護】介護保険法の概要と改定/介護関連サービスの動向/介護関連企業(上場)の動向 ほか
- 【第3章 周辺産業】医療機器市場の最新動向/医薬品市場の最新動向/ヘルスケア分野におけるM&Aの状況

『医療経営データ集2017』発刊記念セミナー開催決定!
2018年2月3日(土)、日本政策投資銀行の青山竜文氏を講師に迎え、『医療経営データ集2017』発刊記念セミナーを東京で開催します。詳細は決定次第、協会ホームページでお知らせします。

- 監修・編集:日本政策投資銀行/日本経済研究所
- 定価:3,240円(税込)→**会員価格:2,592円(税込)**
- 体裁:A4判/並製/2色/288ページ

日本医療経営実践協会
正会員の皆様には
会員特典として
1冊贈呈!
(協会より11月頃の発送を予定しています)



事務局 掲 示 板

～日本医療経営実践協会からのお知らせ～

第5回「医療経営士1級」
第一次試験に20人が合格！

10月27日（金）、第5回「医療経営士1級」資格認定試験・第一次試験の合格者20人を発表しました。第一次試験は9月10日（日）に東京都内で実施。43人が受験しました。第一次試験の合格者は、12月3日（日）に実施される第二次試験（口頭試問、個人面接）に進みます。

医療経営士1級を対象にした
「医療経営指導士」制度がスタート

本協会では、医療経営士1級資格認定者を対象とした「医療経営指導士」の制度を新たに設けました。「医療経営指導士」として協会に名称使用の登録を行っていただいた方は、協会認定の講師として医療経営士関連講座（試験対策講座など）や支部研究会を開催することができるようになります。また、協会が病院や企業等から講師派遣の依頼を受けた際に、優先的に講師として紹介します。制度の詳細、登録料などについては、協会事務局までお問い合わせください。

支部活動に参加してレベルアップを図ろう！

PICK UP 研究会

11/10 関東支部

第12回神奈川研究会
「在宅医療と病診連携について
～先進地域“横須賀”の事例を踏まえて～」

医療経営士有志が自主運営する神奈川研究会は、医療法人社団小磯診療所院長、横須賀市医師会理事の磯崎哲男氏を講師に迎え、第12回目の研究会を開催する。高齢化が進むなか、在宅医療の推進が大きなテーマとなっている。研究会では、先進地域である横須賀の事例を交えながら、在宅医療や病診連携のポイントについて学ぶ。

- 日時
11月10日（金）19:00～20:45
- 会場
かながわ県民活動サポートセンター会議室301（神奈川県横浜市）
- 参加費（税込）
会員：1,000円／非会員3,000円
- お問い合わせ先
神奈川研究会運営事務局
（担当：済生会横浜市東部病院医事企画室・金城）
TEL:045-576-3000（内線：9707 平日日中のみ）
e-mail:y_kinjo@tobu.saiseikai.or.jp

11/24 北海道支部

“惑星直列”観察ツアー 第2回（全6回）

診療報酬・介護報酬の同時改定、第7次医療計画、第7期介護保険事業（支援）計画など、重要施策が一斉にスタートする2018年度は医療・介護の大きな節目の年であり、“惑星直列”とも呼ばれている。全6回のセミナーでは、NB lab代表の神内秀之介氏が、最新情報と重要事項を時系列で徹底解説。各施策にどう向き合っていくかを検討する。

- 日時（各回18:30～20:00）
11月24日（金）、12月22日（金）、1月26日（金）、
2月23日（金）、3月23日（金）※第1回は終了
- 会場
日本医療企画北海道支社セミナールーム（北海道札幌市）
- 参加費（各回、資料代・税込）
会員1,000円／一般1,500円
- お申し込み・お問い合わせ先
日本医療経営実践協会北海道支部（担当：緑川）
TEL:011-223-5125

日本医療経営実践協会 支部研究会スケジュール

開催日	開催支部	テーマ	講師
11月5日（日）	関東	2018年度診療報酬・介護報酬同時改定の論点整理と具体的な戦略策定	井上貴裕氏（千葉大学医学部附属病院副院長・病院長企画室長・特任教授、日本赤十字社本社医療施設教育研修アドバイザー）
11月10日（金）	関東	第12回神奈川研究会 「在宅医療と病診連携について ～先進地域“横須賀”の事例を踏まえて～」	磯崎哲男氏（医療法人社団小磯診療所院長）
11月11日（土）	東海	第10回静岡県東部医療経営研究会 「『こころの健康経営』～メンタルヘルスセルフケア～」	村松茂氏（大富士病院事務部医事課主任、医療経営士2級）／高橋慶樹氏（大富士病院心理・医療相談部主任）ほか
	東海	経営人材としての総合力を高める「石井ゼミ」 第3回（全4回）	石井富美氏（超高齢社会健康・医療・くらし研究所主任研究員、多摩大学医療・介護ソリューション研究所フェロー）
11月24日（金）	北海道	“惑星直列”観察ツアー 第2回（全6回）	神内秀之介氏（NB lab代表）
11月25日（土）	東海	坪ゼミ「医療・介護現場の問題解決法」 第2回（全4回）	坪茂典氏（社会医療法人愛仁会高槻地区事業統括部長、社会福祉法人愛和会本部統括部長）
	九州	医師を知り、交渉力・提案力をUP 現場力を磨く「Dr園田ゼミ」 第2回（全4回）	園田幸生氏（医療経営士1級、医学博士 [九州大学]）

※日程等は変更になる場合があります。詳細は協会ホームページでご確認ください。

一般社団法人日本医療経営実践協会 主催

2018年



「新春講演会」&
「新春の集い」

●新春講演会 講演テーマ

医学の進歩は
何をもたらすのか

今こそ求められる医療マネジメントの重要性

講師
里見清一先生



profile

さとみ・せいいち●鳥取県生まれ。本名・國頭英夫。鳥取県立米子東高等学校卒業。1986年東京大学医学部卒業。大病院内科および公立病院救命救急センターなどの研修を経て、1991年から呼吸器内科とくに肺癌の診療に専門に従事。2001年東大医学博士。三井記念病院呼吸器内科科長、国立がん研究センター中央病院内科、日本赤十字社医療センター化学療法科部長。専門は呼吸器内科学・臨床腫瘍学。筆名は山崎豊子『白い巨塔』の登場人物から。テレビドラマ『白い巨塔』のアドバイザーも務める。

開催日 **2018年1月27日** 申込締切:2018年1月19日
第Ⅰ部：新春講演会 15:00～16:00（開場14:30）
第Ⅱ部：新春の集い 16:20～18:30（懇親会）
会場 **富士ソフト アキバプラザ**（東京都千代田区神田練堀町3）
第Ⅰ部：6階セミナールーム1 第Ⅱ部：レセプションホール

参加費
第Ⅰ部 医療経営士（会員）……………無料
介護福祉経営士（会員）……………1,000円
一般……………3,000円
第Ⅱ部 医療経営士（会員）……………3,000円
介護福祉経営士（会員）……………5,000円